

第72回 ビジネス文書実務検定試験 (6.6.30)

第1級速度部門問題 模範解答

企業が人材確保のために、魅力ある職場づくりをすることは重要	30
といえる。その参考となる指標の一つに、従業員満足度（E S）が	60
ある。これは、給与や役職といった待遇に加え、職場環境や仕事の	90
やりがいなどの要素も含めて調査される。その方法は、アンケート	120
によるものが一般的だ。事前に従業員へ意図を伝えた上で定期的に	150
実施し、改善を繰り返していくことが望ましい。	173
このE Sを高めるため、企業が自社の本質的な課題を乗り越えら	203
れるように、現状に適している施策を打つことが肝要だ。ある会社	233
では、一人ひとりが自分らしく働けるように、従業員が勤務時間を	263
決められる制度を導入した。さらに、兼業の自由化や子連れ出勤の	293
支援なども行っている。その結果、多様で柔軟なワークスタイルが	323
可能になり、低い離職率で推移し続けている。	345
以前の企業では、顧客を最優先にする考え方が一般的であった。	375
ビジネスでは顧客を大切にすることは当然だが、過剰にサービスをす	405
るために、従業員が自分の時間を犠牲にしてまで働くことが増加し	435
た。社内でこのような状態が顕在化するようになると、仕事に対す	465
るモチベーションが下がり、品質や精度の低下へとつながった。そ	495
して、改善のために労働環境を整備する必要性が生じた。	521
近年は、従業員が仕事に満足することにより、顧客に対して質の	551
高い接客ができるという考え方が主流だ。そのため、企業は顧客を	581
大切にしながらも、まずはE Sを意識して取り組むことで良い結果	611
を得やすい。企業がイメージアップを図ることができれば、離職率	641
の低下や新規雇用の獲得へとつながり、生産性も向上するだろう。	671
今後より多くの企業で、従業員が満足できる環境が整えられていく	701
ことを願っている。	710

第72回 ビジネス文書実務検定試験 (6.6.30)

第2級速度部門問題 模範解答

日本銀行券のデザインが刷新され、今年7月に発行される。通貨	30
に対する信用を維持するため、紙幣の変更はおおむね20年ごとに	60
行われている。今回、二つの新しい技術を導入したことにより、さ	90
らに偽造されにくくなった。	104
その一つが3Dホログラムで、見る角度によって肖像の立体画像	134
が回転する技術だ。また、従来のすかしに加えて高精細すき入れと	164
いう技法を使い、細かな画線で連続した模様が施されている。これ	194
らは世界で初めて紙幣に導入された技術で、日本の技術力の高さが	224
うかがえる。	231
デザインの刷新に伴い、すべての肖像が替わる。これまで16名	261
の偉人が日本銀行券に描かれたが、そのうち一万円札に採用された	291
人物は2名しかいない。その肖像が40年ぶりに、日本資本主義の	321
父と称されている渋沢栄一に切り替わる。	341
今回の変更では、ユニバーサルデザインに配慮している。誰もが	371
使いやすい紙幣にするため、額面数字の大型化や識別マークの改善	401
を実施した。いつでも安心して使える通貨は、キャッシュレス化が	431
推進される中においても、欠かせない存在であり続けるだろう。	460